

平成21年度 道管理空港の空港別収支の試算結果について

1. 経緯

北海道では、昨年12月に、空港運営の透明性を確保する観点から、国の空港別収支を参考にしながら、6つの道管理空港の平成20年度の空港別収支について公表しました。

一方、滑走路などの基本施設に加え、空港ターミナルビルや駐車場などの施設を含めた空港全体の収支については、空港運営の状況を把握する一つの指標として重要と考えているため、平成21年度の空港別収支については、ターミナルビルを運営している空港ビル会社等の収支についても、併せて公表することとしました。

2. 試算を算出する際の考え方

国が公表している国管理空港の空港別収支を参考に作成した道管理空港の空港別収支の試算結果は以下の通りです。なお、国は財源や空港整備費の取扱いが異なる4つのパターンの試算を公表していますが、そのうち、一般財源及び空港整備費を計上していない、空港の維持管理に着目した収支に基づいてキャッシュフローベースの試算を算出したものです。

(単位：百万円)

	道管理空港						
	合計	女満別	中標津	紋別	奥尻	利尻	礼文
歳入項目							
着陸料等収入	427	348	45	26	0	8	0
土地建物等貸付料収入	68	46	1	1	8	12	0
歳出項目							
空港等維持運営費等	1,344	501	259	266	101	213	4
土地建物借料	19	0	0	19	0	0	0
道有固定資産所在市町村交付金	72	18	13	15	15	11	0
歳入項目の合計	495	394	46	27	8	20	0
歳出項目の合計	1,435	519	272	300	116	224	4
歳入・歳出差額	▲940	▲125	▲226	▲273	▲108	▲204	▲4

(参考)

「着陸料等収入」～着陸料、停留料、保安料収入などを計上

「土地建物等貸付料収入」～土地、建物等の貸付による貸付料収入を計上

「空港等維持運営費等」～人件費、庁費等、滑走路等の維持運営費等（離島空港については、ターミナルビルの維持運営費を含む）を計上

「土地建物借料」～土地、建物等の借用による支払借料を計上

「道有固定資産所在市町村交付金」～道が所有する固定資産の所在する市町村に交付する交付金を計上

※奥尻空港の着陸料については、20万円程度であり、百万円に満たないため、0と記載している。

※礼文空港については、平成21年度から休止中。

(参考) 空港関連事業者（空港ビル会社及び駐車場事業者）の収支について

(単位：百万円)

H21年度 空港ビル会社	道管理空港			
	合計	女満別	中標津	紋別
営業収入	739	420	233	86
営業利益	110	84	5	21
経常利益	93	74	▲0.5	19
当期純利益	42	33	▲2	11

(単位：百万円)

H21年度 駐車場事業者	女満別
収入	76
支出	72
収支	4

※(財)女満別産業開発公社が運営

※女満別、中標津、紋別の3空港のターミナルビルについては、女満別空港ビル(株)、根室中標津空港ビル(株)、オホーツク紋別空港ビル(株)が設置及び管理運営を行っており、それぞれの会社の決算時における金額を記載。

※離島空港のターミナルビルについては、道が設置し、管理運営を地元自治体に委託しているため、これらの収支については、上記2.の3空港の空港別収支に含まれている。